

UA神奈川学習センター あきだより

通巻第40号

2009年10月発行

発行:放送大学神奈川学習センター 〒232-0061横浜市南区大岡2-31-1



Giant Quiver Tree(アロエの仲間) 南アフリカ共和国フーハップ自然保護区にて撮影(6ページに関連記事)

目次:

六ヶ月の神奈川学習センター 神奈川学習センター所長 渡辺 慎介	2
うえるかむズーラシアへ	2
学習センターニュース (入学者の集い/卒業証書・学位授与式)	4
フェスタに参加して	5
南アフリカに花を尋ねて	6
皆既日食観測1サロス	7
ぶらり「ベイサイドエリア」	8
Kーサポートからのお知らせ	9
学生サークルからのお知らせ	10~11
横浜国立大学 県立外語短期大学 大学祭のお知らせ	11
学習センターからのお知らせ	12

六ヶ月の神奈川学習センター

神奈川学習センター 所長 渡辺 慎介



神奈川学習センターに着任して半年が経ちました。まだ短い経験ですが、この間の感想を述べさせていただきます。

Kーサポートを中心とした学生の活発な活動については、予備知識

がありましたから、活動内容は理解しているつもりでした。しかし、実際の活動を見なければ実情はつかめないということをこの半年で悟りました。

神奈川サークル協議会によるフェスタ・ヨコハマは8月30日に、石学長を迎え盛大に開催され、大きな盛り上がりを見ました。すべてが学生による自主的な企画、交渉、運営、実施です。当日の学長による講演の様子は、神奈川新聞にも報道されました。

各サークルの活動も実態を目にしなければ、その生き生きとした姿は理解できませんでした。

Kーサポートの学習支援チームによる土日の学習支援活動にも感心しました。さらに、大学説明会に開催される学習相談会は目を見張るものがあります。全体相談会とそれに続く個別相談会を通して、放送大学に関心を抱く多くの方に適切なアド

バイスを与える姿は頼もしい限りです。そのお陰で、今年度第2学期に神奈川学習センターに入学・継続入学のための出願者数は、昨年度を261名も上回る1058名に達しました。増加数は全国のトップです。この成果は学習支援チームの実力の賜物です。

機関紙編集チームの定期的な機関紙発行は、情報提供・相互理解の貴重な場を提供しています。また、秋に開催されるウォーキングの準備に忙しい地域連携チーム、横須賀方面のバス旅行を企画しているバス研修チーム、この二チームの活動も楽しみにしています。

さて、放送大学に来てもっとも驚いたこと、それは単位認定試験です。何に驚いたか？試験開始30分を過ぎると、学生がぞろぞろと教室から退出する事実です。これは、50分の試験時間にもかかわらず、30分も要せずに解答できる単位認定試験であることを意味しています。これで放送大学の教育の質が保証されるのでしょうか、この点に疑問を感じて、単位認定試験の実態に驚いたのです。

皆さんはどう思われるでしょうか。

うえるかむズーラシアへ

石橋 正彦

私の名はアフリカタテガミヤマアラシ。要するに大きくなると1mくらいにもなるハリネズミ。もともとはアフリカ産のげっ歯類、つまりネズミの仲間。私の背中には太さが2mmくらいのものから8mmくらいのもので、長短さまざな針が一杯。針の長いものは30cmくらい。この針は中が詰まっていて、結構丈夫。針先は透き通っていてとても鋭く、刺されると相当痛いですよ。毛

と同じなので良く抜け落ちます。拾って洗って、羊糞を食べる時の楊枝に格好。針みたいな毛だけでなく、50cmくらいもある長い毛が頭の後ろ辺りに沢山生えているので、タテガミヤマアラシというわけ。私はズーラシアの中のことなら何でも知っているズーラシアの主なんですよ。

え、いつまで自分のことを話しているんだ、って？

すいません。今日は放送大学神奈川学習センターのうえるかむの皆さんがズーラシアに来てくれたので、そのことをお話しするんでしたね。知ってますか？横浜には動物園が3つもあるって。以前は4つあったのですが、万騎が原の子ども動物園が無くなったので、金沢動物園、野毛山動物園、そして今私が住んでいるよこはま動物園ズーラシアです。

今回うえるかむの皆さんが来たのは、うえるかむの中に相模原の獣医大の出身者がいて、増井園長の後輩で親しいことから皆を引き連れてきたんだそうです。私達の親分の増井さんというのはズーラシアだけでなく、兵庫県立コウノトリの郷公園の園長もやっている有名な人なんです。もう後期高齢者に近い年齢だというのに、フルマラソンに挑戦して完走したり、エンデュランスという競技に出たり、と大活躍です。エンデュランスを知らない？この競技は乗馬のマラソンというべき競技で、大自然を楽しみながら長距離を走りぬくもので、長いときは100km以上も走るという、大した体力を要する馬術競技なのです。それを楽しむというのですから、ともかくすごい元お姉さまなのですが、ズーラシアの中では気さくな園長さんです。たまたま、時間に余裕のある日だったので、増井園長、ご機嫌でうえるかむの皆さんの案内を買って出てくれまして、皆さんもご機嫌でした。

ズーラシアの一番の目玉のオカピは1頭しか外に出ていませんでしたが、園長さんの案内と説明で皆さんじっくり見ていたようでした。オカピはわが国ではズーラシアと上野動物園だけにしか



飼育されていない、世界中でも42頭しか飼育されていないという超珍しい希少動物、生きている化石なんです。それがズーラシアでは3世代の繁殖に成功しているんだから、すごいでしょ。ウマみたいで、シマウマみたいで、キリンみたいで、なんとも面白い動物ですが、れっきとしたキリンの仲間です。その証拠にキリン同様黒い舌をべろっと出して木の葉を食べます。腰の縞模様はジャングルの中で見分けにくいように出来ているのですが、動物園ではこの縞で個体識別をします。

横浜150年祭のヒルサイド会場がズーラシアの隣にあって、ちょうどウガンダから来ていた研修生の人たちと中央アフリカのウガンダ共和国に現地のチンパンジーを学びに行っていた獣医大の後輩のK君とがトークショーをやるというので、園長さんと一緒に行き、通信に使う太鼓を鳴らしたり、ウガンダの様子やジャングルのチンパンジーの様子を聞いたり、楽しいひとときを持ちました。若い人達が新しいことを勉強しに私のふるさと、アフリカにまで行く時代なのですね。

ズーラシアの目玉商品はもう一つ、テングザル。最近ズーラシアに導入されて6月から公開されています。まだ若いサルたちが5頭、大きなケージの中で飛び回って木の葉を食べている様子はなんともかわいいものです。まだ鼻は大きくないですけど。テングザルは以前は犬山のモンキーセンターにいたのが今はなくなったので、わが国でテングザルはズーラシアでなければ、見る事が出来ません。大人のオスは大きな鼻で、メスの気を引くのに夢中になるとか。求婚もいろいろですね。そういえば、ズーラシアでなければ見る事の出来ない仲間がまだいます。ドウクラングールといって、サルの仲間では一番の美形といわれる、やや大型のサル



で、なんともいえない美しい瞳が魅力です。ベトナムから来たのですが、米軍の枯葉作戦の影響をまともに被って絶滅寸前の種です。このドウ克蘭グールやテングザルの仲間は葉喰い猿、つまりリーフ・イーターで、専ら木の葉や木の実が主食。消化のために胃が複胃になっていて、微生物の助けを借りて消化するんですよ。でも反芻まではしませんけれど。

まだまだズーラシアにはニクソン外交でジャコウウシと交換された、かの有名な政治動物のゴールデン・ターキンなど珍しい動物がいますが、もう時間がないですね。

うえるかむの皆さんだけでなく、放送大学の皆さんが来られたらウエルカムです。ズーラシアの動物たちを代表して皆さんの来園をお待ちしています。



写真は、星礼子さん、垣谷江里子さんの提供です。

入学者の集い

平成21年度第2学期の「入学者の集い」が、10月11日(日)神奈川学習センター第8, 第9講義室を連結利用して行われました。

会場には、第2学期の入学者の集いとしては、近年にない約200名の新生が参加し、壁際に並べられた椅子まで満席となる熱気溢れる集いになりました。

渡辺所長の在校生とのエピソードを交えてのお話、原田准教授のお話、ともに学びの意味、学びの方法を



考える示唆に富みました。

合唱団の学歌斉唱、教職員紹介、オリエンテーションから、K-サポート、サークルの紹介へと続きました。



入学者の集い終了後、学生証発行が第7講義室で行われ、室内では、宣伝看板を並べた各サークルが団体の説明していました。また、談話室では、K-サポートの学習相談会があり、熱心な新生が相談に訪れていました。



平成21年9月放送大学卒業証書・学位授与式

10月11日(日)、平成21年9月放送大学卒業証書・学位授与式が、神奈川学習センター第8講義室にて行われました。

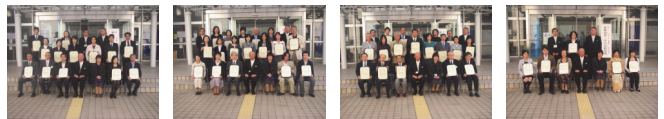
式では、渡辺所長が、卒業生一人一人の名前を読みながら、卒業証書・学位記を手渡されました。

続いて、所長の祝辞があり、「広い視野をもつ」「近江商人の三方佳し」の話が卒業生のみなさんは、卒業の感慨を噛みしめつつ耳を傾けていました。



式に続き、玄関前で専攻ごと4グループに分かれて記念写真の撮影がありました。

学習センターによる行事終了のあと、放送大学神



奈川同窓会主催の卒業祝賀会行われました。

祝賀会には、卒業生、教職員と同窓会役員が参加され「しばらく勉強のことは忘れて休日のんびりしたい。」という方、新たな学習目標をもち「再入学してサークル活動もしてみたい。」と話される方もあり、話題は尽きません。会の中盤には、原田准教授と卒業生代表の方3名のスピーチ、それぞれの人柄を思わせる語り口にみなさん聞き入っていました。



フェスタに参加して

平林 淳子

学長先生の愛くるしい笑顔のポスターに引き寄せられるようにして、初めてフェスタに参加しました。講演が楽しみでした。今までの経済の歩みを大掴みにお話されたあと、細部については質問に答えるかたちでお話して



くださいました。質問者の学生の方も、経験を積んだかたがたで先生との骨のあるやりとりは聞いていて興味深く、生きた経済学の耳学問をさせていただきました。これからの日本経済について、消費税の税率を上げることをあまりにも先送りしてきており、今はもう待てないこと、そしてこの問題は多くの方が気づき始めていると指摘されました。これからの暮らしを考える



記念品・花束贈呈

とき、消費税率上げは外せない前提となると覚悟しました。



交流会では、会場いっぱいひとと楽しくにぎやかにすごしました。学長先生は笑顔を決やさずできる限り多くの学生と言葉を交わしておられ、頭の下がる思いでいっぱいでした。おいしい中国茶を試飲したり俳句の選句をたのしんだりしました。美しい韓国の服に身を包んだハングルの先生すてきでした。キャリアアップ、生涯学習、余暇の楽しみその他放送大学の役目は、幅広いとおもいます。本当にいろいろな方々が所属されていると感動しました。



政権交代が起こったその選挙当日のフェスタとなりました。皆様お疲れがでませんように。来年もまたお会いしましょう。



交流会場にて歓迎を受ける石学長



石学長の乾杯で、交流会スタート



交流会前の学歌斉唱



中国茶コーナーにて



コーヒーコーナーで記念写真



第1講義室の展示会場

写真は、寺村紀美夫さん、岡本興和さんにご提供いただきました。

※ この記事は、8月30日(日)に行われた 第23回神奈川学習センター学園祭フェスタ・ヨコハマの報告です。

南アフリカに花を尋ねて

大出 鍋蔵

南アフリカに大自然が生み出した奇跡とも言える景観があることを知ったのは最近のことであった。1492年スペインのグラナダ王国が追放され、あの美しいアラハンブラ宮殿を残していったイスラムが、まだ中近東世界を支配しているためにインドの香料を求めするためには、アフリカ大陸を南下しての航海が必要で、ジブラルタルを南下しての航路をポルトガルが権利を得てケープタウン(喜望峰)に到達して開かれたのが最初であり、西方向の権利を得たのはスペインでアメリカ発見につながる端緒となったことは多くの人を知るところである。

成田から香港で乗継ぎ、ヨハネスブルグを経由してケープタウンまでの25時間の飛行時間は楽なものではなかったが、テーブルマウンテンの裾野に広がる港湾都市の姿を目にした時はようやくアフリカ大陸の南端に到着した実感が湧くのであった。まずテーブルマウンテンに登り山頂の遊歩道を散策、エリカや色とりどりの花を観察したが、日本の園芸店でも最近は見ることが出来るようだ。



ケープレインデイジー、ガザニヤ、など

国道7号線を北上して最初に訪れたのはウェストコート国立公園で開花する8、9月のみ開放される地区で、白いケープレインデイジー、ガザニヤ、オキザリス、マツバギクなど満開、ボンテボック、ヌー、エランド、ダチョウなどの野生動物も見ることが出来た。

沿道の両側にはセネシオ、イエロースパイダーアイリス、ドラムスティックなども咲乱れておりまさに春の花々の最盛期であった。以前銅鉱山であった跡地の広大な地域にあるフーハップ自然保護区にも立寄り、一周13kmの園内を車で回りながらナマクワブシュレスキアの群生

が赤紫に染まっていた。他にデイジー、マリーゴールド、ガザニヤ、ホアイトアイト、デュイカールート、カルノーサ、ラケナリアなど素晴らしい花園であった。

ケープタウンの北方700kmの広大な地域のナワクワ国立公園は素晴らしい景観を堪能させてくれたところで、曇り空の午前中は花の開花が十分ではなかった



ナマクワランドデイジー



Satin Boneseed (デイジーの仲間)

が、雲一つない午後あたり一面に広がる見渡す限りの丘陵に、ナマクワランドデイジーが一面に咲き誇りオレンジ色に染まる光景には驚くばかりで

あった。この景観は1年のうちで僅か3週間だけのこと、幸運にも最適に遭遇できたことがなによりであった。通常は荒涼たる半砂漠地帯だが、年に一度だけ大地をこのように埋め尽くすとは奇跡であろう。

国花のプロチアはケープ半島の南端に多く自生しており、見応えのある花でケープタウン・カースチンボッシュ植物園も素晴らしいものであった。アパルトヘイトは第2次大戦後に強化され、今は廃止されたがその残影はまだ消えていなかった。



キングプロテア

皆既日食観測1サロス

田澤 誠一

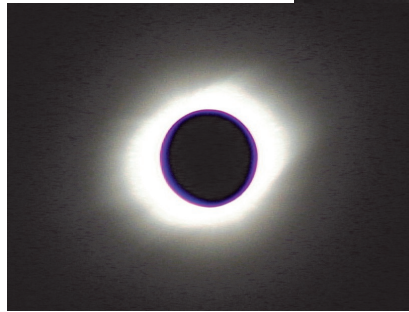
今回で皆既日食観測を始めて1サロスとなる。サロスとは、同じような日食が18年11日8時間後に起こる現象を言う。この間に皆既日食12回、金環日食12回、部分日食14回、金環皆既日食1回起きている。私は、皆既10回、金環日食1回観測した。金環皆既はコスタリカまで出向いたが曇られてしまった。太陽活動は、1700年からの黒点数データによると10から11年周期で極大期、極小期を繰り返している。1989年が極大、1986年が極小、2000年が極大、2006年が極小のはずであったが更に減少し、ついに先月の8月に月平均が0となった。今の異常は過去300年間で初めての事である。この太陽活動とコロナの形には相関がある。極大の2001年コロナは全方位型。極小の1995年は極に対し東西に長いコロナ、しかし2006年が極小期のはずだったがコロナは羽を広げた形になっていた。そして昨年と今回も同じようなものであった。

11回目となる皆既日食は、初めてが多い。国内初、初の洋上観測、観測機材の重量制限なし、天候を読んでの

移動もなし、食料調達等々なしの極楽豪華客船の日食観測であった。海の日に賑わいを見せた横浜大栈橋を出航。東京湾は約2.5万トンの船には穏やかだったが、翌朝、雷と豪雨と揺れで目が覚め一気に軽い船酔いに罹ってしまった。日食の前日の雨は昨年を思い出す。皆既当日、太陽が欠け始めてからホテルでの



観測を諦め、車を見つけ雲の隙間を探しながら走り回った。実は、今回も同様に船は雲の隙間を見ながらの航行となった。天候が心配だったので操舵室の見学に行き海図を見た。そこには針路変更が書き記されていた。当初予定より南東へと。夜の11時ごろプールサイドデッキでは、



NHKのスタッフがまだ準備をしているのをジャグジーに浸かりながら見ている。星は、

全く見えない。日食当日、日の出を見た。これで5歩は見られる。我々の観測場所は、プールサイド2階煙突の前。NHK中継アナウンサーの真後ろ。グループ7人分の場所を確保。前日の強風とは一変しての風。観測条件としては最高であったが、それでも太陽は踊っていた。太陽の欠け始めは左上。この時、船は東に進んでいた。皆既の前に進路を北へ変更。最初のダイヤモンドリングは90度ずれて左下。皆既中は、そのまま北だったので2度目のダイヤモンドリングは右上。船はユーターンして皆既が終わるころには、西へ進んでいた。欠け始めと欠け終わりが左上と言う怪奇日食になってしまった。ダイヤモンドリングの30秒前にシャドーバンド(さざなみの様に動く不規則な帯状の影)を確認。そのまま歓声に包まれながらのダイヤモンドリング。皆既

中に最初に感じたことは、今までにないほど明るい。通常なら一番大きな影の日食なので暗い筈であった。それとコロナの流線がやたらに見難い。陸の反射率と海の反射率の違いで地球が明るく輝いていたのだ。金星は、皆既の5分ぐら

い前から見えていた。水星が左下に。水平線は全周赤みを帯びている。20cmのシュミットカセグレン望遠



鏡で地球照(地球の反射光で新月の表面が見えること)を確認したが、コロナが明る過ぎて認識することが出来なかった。しかし、コロナの微細構造は今まで見た事のないほど素晴らしいものだった。余りにも凄かったので一人でも多くの人に見せてあげたいと思い、当初2分ほど見る予定を30秒で切り上げ、4人ほど見せてあげた。パソコンのカウントダウンからダイヤモンドリング30秒前の時点で20cmの望遠鏡に蓋をした。今回

のダイヤモンドリングは2回とも1点からの綺麗なものだった。地球照は、自宅のハイビジョンビデオから何か影らしいものを確認できた。温度湿度観測、コロナの色は何色と言う観測結果の詳細は、

<http://homepage3.nifty.com/sechan/>を見てください。この海域には、私の友人が乗っていたふじ丸とイタリアの船が居た事の案内があった。観測となると今回ぐらいの船では無理だと判った。15万トンならとも思ったが試す予定も機会もない。皆既前日の晩と当日の夜、船首からの前方には全く光がない。南の水平線から登る天の川はさそり座を通り織姫、彦星の間を抜け白鳥座から北東のカシオペア座まで雲のように流れていた。散在流星が時々流れる中、久しぶりの再会を果たした。

2009年9月12日
うえるかむ所属
田澤誠一



ぶらり「ベイサイドエリア」

赤松 孝子／家田 礼

開国博150年の横浜の街を「劇場空間」にの言葉に誘われてテレビニュースでは観たもののこの眼で見たいと思い立ち フランスのスペクタクルアート劇団 機械仕掛けの巨大クモ ラ. マシン を目的に開港150周年の熱気が高まる横浜に行ってまいりました。

地面からの高さは約12メートル。3-4階建てのビルに相当し、仰ぎ見るような感じでクモの足は左右に4本ずつ、合わせて8本あり、顔にあたる正面からは2本の触覚らしきものが伸びていて、一番高い頭の位置には、人が乗っていて操作できるように運転席が3人分設けてあり、少し低いところにクモの腹部と思われる運転席が抱え込むように設けられている。頭や顔、足さらにクモのお尻に当たる部分もすべて木で

包まれて、本物のクモの顔や胴体と見間違え程の巨大クモ そのクモは糸をつむいで巣を作る とてもクリエイティブな生き物であり「Web=クモの巣」型ネットワーク社会のシンボルとなる生命の源。開国博Y150の様々な会場をつなぎながら「横浜のゆめ」をつむいでいました。

横浜の街を美人の運転でノッシ、ノッシと歩いている姿を幕末のあのフランス山に駐屯していたフランス海兵隊の人々がこれを知ったとしたらどんなことを思ったでしょう。



Kーサポートからのお知らせ

○地域連携チーム

私たち放送大学神奈川学習センターウォーキングの会は11月7日(土)にウォーキングを行います。「河川網をめぐり開港場へ」約7～8kmの道のりです。横浜は時代を行く交通革命の中で横浜を支えた八つの河川が消えました。幻となった河川、現存する河川を含め、八つの河川をめぐります。関外では中心地・港を支えた河川・吉田新田の市街化、町の発展の様子を見ていきます。関内地区に入りますと、江戸時代末期におきた幕府の思惑のあと、外国人居留地・港など、また明治政府が至難した不平等条約の名残り、横浜港築港の姿など、見所がたくさんあります。みなとみらい地区は整備され、きれいな町になっています。横浜は開港以前から歴史を背負って今日に至っていますが、その歴史を踏まえて、町を見ると、まるで違った町に見えてきます。「素敵だな、きれいな町」だけでは終わらない深みを増した、愛する町と変わってくることでしょう。

コースは放送大学神奈川学習センターから大岡川に沿って、かつて海だった吉田新田へ、9代吉田勘兵衛が開削した堀割川、埋め立てられた新吉田川、吉田川、派大岡川をたどり、堀川沿いに、外国人居留地の人々の生活を支えた元町、外国人居留地、外国人商館、フランス波止場、横浜海岸通り、イギリス波止場(象の鼻)、開港広場へ、参加費 100円
私たちウォーキングのリーダーは参加者の方に案内の役割を担えるよう調査や学習を重ねてきました。ご期待に添えるよう力を尽くしたいと思っています。申し込み方法など詳しくはポスターを見ていた

だき、また不明な点はフジタに連絡いただければうれしく思います。皆様のご参加をお待ちしております。
放送大学神奈川学習センターウォーキングの会
代表 藤田 緑

○学習支援チーム

平成21年度第2学期「学習相談会」日程
放送大学は自分の都合に合わせて学習できるのが利点ですが、一人で学習するため、普通ならば学生同士の会話の中で得られるような情報が簡単には得られません。また、相談相手がいないので学習の途中でつまずくとその先へ進めなくなりがちです。こうしたことを防ぐために、学習を進めて行く上で、困っていることや疑問点がありましたら、「学習相談会」でお気軽にご相談ください。相談にのるのは、教職員ではなく、学生ボランティアですので、その場で回答できないこともあります。その時は調べて後日回答します。そのため、連絡先を差し支えない範囲でお知らせください。

平成21年度第2学期は以下の日程で行います。

10月17日(土)から12月20日(日)の間の
土曜日と日曜日

午後1時から午後4時まで

神奈川学習センター談話室(2階)の相談コーナー

私たちと一緒に学習支援をしませんか。相談員ボランティアを募集しています。Kーサポートに応募して下さい。

投稿募集

学習センターだよりでは、みなさまの投稿をお待ちしています。分野は特に問いませんが、放送大学の学生にとって興味のもてる話題が好ましいです。例として、①私の学生生活②私のおすすめ授業 ③放送大学卒業までの体験談 ④学習の失敗談 ⑤旅行の思い出、エッセイなど。字数制限はありませんが、特集を組む都合、長文の場合など、掲載時期、掲載方法についてご相談させていただくことがありますのでご了承下さい。電子メール:ksupport@u-air.ac.jp(Kーサポート事務局) ※電子メールが使えない方は、神奈川学習センター事務室までお届け下さい。また、編集チームに直接お渡しいただいても構いません。

編集後記

開港博が閉幕しました。動員数はかなり厳しかったようでしたね。オリンピックの招致活動も残念でした。いつの世も特定・不特定を含めて、多数の方の動向を予測するのは大変なんですね。機関紙も読者の動向把握に努めておりますが、…努力不足?がんばります(S)。

UA神奈川学習センターだより編集部

佐々木、笠井、星、赤松、家田、木下、平林、筈崎
(以上、Kーサポート機関紙編集チーム)

垣谷(Kーサポート事務局) 福島(学習センター事務室)

学生サークルからのお知らせ

○中国語学習会

中国語学習会はこの9月9日からの1週間、放送大学の広報番組「大学の窓」の“広がる輪～サークル大集合～”で全国のいくつかのサークルとともにその活動が紹介されました。ごらんになりましたか？ 中華街の散策、楽しそうだったでしょう。みんなで学ぶことと楽しむことは中国語学習会の二本柱なのです。神田の古本屋街散策なども計画しています。

お問い合わせ

万場(まんば)由美子 046-293-5521

○神奈川放友会

神奈川放友会は「交友を楽しみながら放送大学で学習を続ける会」です。年間諸行事のうち、今回は「パソコン勉強会」にフォーカスを当て紹介します。

- 1・初級コース(5月延べ4回)ワード・エクセルの基礎
 - 2・初級フォローアップ支援(教え放しでなく補講)
 - 3・導入支援コース→基本的スキル必要者への支援
 - 4・応用コース(11月延べ4回)パワーポイント・画像処理
- 【特に2.3の支援により、皆ネット交信に切替】

★<http://www.h5.dion.ne.jp/~jinhoyu/>

文書責任者 神奈川放友会 金田 保男

○放送大学神奈川合唱団

一緒に歌いましょう

新井先生指導のもと、発声法、体操と一定順序の後、学歌、野に咲く花のように、夏のおもいで、と・も・た・ち(小椋桂)等の曲を楽しく歌っています。合間には友との語らいの場ともなります。是非参加下さい。

練習日時 大岡地区センター音楽室(学習センター前) 第1、第3、水曜日 午後6時～8時30分(都合により変更あり)

一見学お気軽にどうぞー

問い合わせ TEL/Fax 0466-34-7545 家田

○韓国語同好会

1、例会のご案内

毎月第一、第三土曜日 10時～12時

(原則) 神奈川学習センター講義室

2、10月16日(金)～18日(日)

韓国放送通信大学釜山地域大日本学科教授、学生七名が来日。本部・千葉学習センターと神奈川学習センター表敬訪問。17日は鎌倉・横浜の観光案内と交流会開催。

問い合わせ：

村田 090-5797-9418

石丸 0467-31-0714

○人間学研究会

1. 例会の予定(いずれも午後1時開会)お問い合わせ・参加申し込み:安田武夫TEL045-775-0879

- 11月14日(土)「江戸の歴史の蔭で遍歴・流浪・渡世していた人びと～無宿・帳外・穢多・非人など～」
- 12月13日(日)「中央アジアシルクロード見聞記」
- 1月9日(土)「平家物語を歩く」

2. 「歩きましょう」

(お問合せ:大出鍋蔵:TEL046-841-7937)

11月8日「紅葉の西沢溪谷ハイキング」(予備15日)

11月21～29日「バンングラディッシュの旅」

12月6日「第8回三浦半島シーサイドウォーク」

1月1日「2010年元旦ウォーク」

○中国語コミュニケーション同好会

★毎月2回(基本的に 第2第、4土曜)13時～15時。

学習センターの講義室にて中国人講師による授業。中国映画などを上映することもあります。テキスト以外の旅行、歌、時事などの中国語も学習します。

初級から中級レベルです。見学歓迎です。

申込、問い合わせ:曾我(TEL045-871-4780)または、直接学習会会場まで。会費:月2000円。

○資格取得研究会

看護、福祉分野のキャリアアップや就職を目指す集まりです。正看護師を目指す准看護師さんが会員の半数を占めます。例会は、毎月一回神奈川学習センターにて。他に、講演会の聴講など。

11月例会：11月8日(日)午後1時から

12月例会／1月例会は、日時未定。

会費：¥500(1年間)

ホームページ…<http://shikaku.yumesora.net>

お問い合わせ…080-5546-7913(はこざき)

○うえるかむKanagawa

“うえるかむ”は英語を楽しみながら学ぶサークルです。うえるかむ名画座、English songsも人気があります。

行事

10月15～16日 箱根一泊旅行実施。

11月11日 うえるかむ名画座「シービスケット」
13:00～

11月13～15日「世界公開大学学長シンポジウム in さいたま」に協力。9カ国よりOpen Universityの学長が来日。空港への出迎え、大学側のfarewell partyのお手伝いをします。興味のある方、是非一緒に参加してみませんか。

例会 第2, 4水曜日(例外あり)

問合せ先 星 reikosunflower@yahoo.co.jp

Tel&Fax 045-844-9647

○放大かながわレクサークル

(楽しいサークルです)レク・サークルは現在、ダンス部、パソコン部、ウォーキング部、近代文学研究会の4部で活動しています。

1. ダンス部＝レクリエーションダンス、フォークダンス、ラウンドダンスの練習をしています。☆練習日時：第1、第3水曜日。

13時～15時

2. パソコン部＝個人指導をしています。

☆日時：第1、第3水曜日。15時～17時

3. ウォーキング部＝月1回実施。

4. 近代文学研究会＝宮澤賢治の作品に取り組んでいます。☆日時：第4水曜日13時～16時
お問い合わせ先 中嶋博子FAX/TEL：0467-83-8203

○ダンスサークル(社交ダンス)

レッスン日 毎月第2火曜日と第4火曜日

時間 午後2時～4時まで 終了後、談話室にて雑談、参加は自由です。

費用 年会費、入会時に1000円、レッスンス料は月1500円です。2ヶ月ごとと偶数月に集めます。場所 第1講義室 毎回正面玄関の掲示ボードに掲示しております。

その他 全科履修生の選択科目である体育実技(1単位)が取得できます。年1回研修と親睦を兼ねて楽しい一泊旅行を行っています(希望参加)今年の会場は10月12日～13日、熱海ニューフジヤホテルでした。

レッスンの見学は自由です、いつでもどうぞおいでください。

お問い合わせ 放送大学ダンスサークル 宮川

Tel/Fax 045-933-9753

横浜国立大学 神奈川県立外語短期大学 大学祭のお知らせ

今年度、横浜国立大学と神奈川県立外語短期大学が神奈川学習センターの単位互換校となりました。このほど行われる両校の大学祭のテーマと日程は次の通りです。この機会に足を伸ばしてみませんか。必ず新しい発見があるはずですよ。

横浜国立大学「常盤祭」テーマ‘青春エスプレッソ’

10月30日(金) 9:00～21:00

10月31日(土) 9:00～21:00

11月01日(日) 9:00～15:00

神奈川県立外語短期大学「石段祭(きざはし祭)」

テーマ‘We are the World’

11月13日(金) 10:30～16:00

11月14日(土) 10:30～14:30

「石段祭」には神奈川学習センターのサークルである「うえるかむKanagawa」(14日)と「韓国語同好会」(13日)の方々も協力参加する予定ですので、是非、訪ねてみてください。学習センターから徒歩で15分。国大付属中前よりバス便あり、概ね毎00分、30分発。

同窓会HP <http://stairway.oops.jp/nucleus/>



学習センターからのお知らせ

◆面接授業追加登録について◆

平成21年度第2学期面接授業科目の追加登録受付は下記のとおりです。(教養学部生)。追加登録の手続き方法は、「平成21年度第2学期面接授業時間割表」または「各学習センター」へお問い合わせください。

【第1次追加登録】

空席発表 : 10月17日(土)
追加登録期間: 10月23日(金) ~ 29日(木)
対象クラス : 10月31日(土)以降に開始する空席の生じているクラス

【第2次追加登録】

空席発表 : 11月11日(水)
追加登録期間: 11月20日(金) ~ 26日(木)
対象クラス : 11月28日(土)以降に開始する空席の生じているクラス

◆通信指導について◆

平成21年度第2学期放送授業の「通信指導」提出期間は下記のとおりです。11月6日(金)までに通信指導が届かない場合は、大学本部(043-276-5111)に連絡してください。

提出期間: 11月17日(火) ~ 12月2日(水) 大学本部必着

- ※ 提出期限を過ぎて到着したものは受理できませんので、余裕をもって送付してください。
- ※ 通信指導の評価結果により、当該科目の単位認定試験の受験資格が得られます。

◆学生募集について◆

学ぶ喜びをより多くの方々に知っていただきたいと思い皆様のご家族・ご友人・知人に放送大学の魅力や利用方法をご紹介下さるようお願いいたします。(お一人ご紹介で1点プレゼントの「ご紹介キャンペーン」実施中です。)

【平成22年度第1学期入学(4月入学)の教養学部生、大学院修士選科・科目生】
募集要項配布期間: 11月15日(日) ~ 2月28日(日)
出願受付期間 : 12月15日(火) ~ 2月28日(日)

第2学期からセンターの開所時間が変更になりました。詳細は、神奈川学習センター
掲示板・ホームページで確認してください。